

## 平成28年司法試験 合格体験記

平成27年度修了（未修コース）小野 祐一郎

皆さん、はじめまして。岡山大学法務研究科修了生の、小野祐一郎と申します。今年の平成28年度司法試験で、何とか合格することができました。

受験まで岡山大学法務研究科で過ごした3年間は、矢のように過ぎ去っていきました。入学したての僕は、法学部に通っていたとはいえ、司法試験合格のため何をすればいいかもまったく分からないひよっ子でした。

そんな僕ですが、先生方の授業での指導、答案の添削講評を通じた厳しいご指摘を聞き、側で頑張る友人たちの背中を見るうち、合格したいと思い、ゴールから逆算した勉強の必要性を痛感するようになりました。

僕のやった勉強は、すべて先生方、先輩方、同期の友人たちの勉強法をまねたものです。答案を書く、短答式問題を解く、授業のメモや答案コメントを基にまとめノートを作る。「誰かのマネをするのは悔しい」というプライドも、「マネをしたら『あいつ私のマネをしている』と嫌な思いをされるのではないか」という不安も、抱くのをやめました。

また、当初まったく歯が立ちませんでした。先生方から出される課題、授業での応答、定期試験を通じ、プレッシャーに折れない精神力、大量の課題を時間内に仕上げる処理能力を鍛えられました。

アルバイトをしながら勉強する時期もありましたが、そんな時に支えとなったのは、先生方はもちろん、折に触れて気遣ってくださる資料室や教務担当の皆さん、常に近くに居て、一緒に闘っている同期の友人たち、当時入学1年目で、混じり気のない目で法を見つめ、鋭い疑問をぶつけてくれたゼミ受講者の後輩たちでした。司法試験はひとりでは闘えない、と痛感しました。

最後に、無精者の僕を合格まで導いてくれた先生方、度重なるご迷惑を何回もたしなめてくださった資料室や教務担当の皆さん、「試験」という共通の障壁に対し、元気に挑み続けた後輩のみんな、そして、辛い時も側で一心に机に向かい続け、僕に闘う勇気をくれた同期の友人たちに対する感謝を忘れず、これからの人生で、少しずつでも恩返しをしていきたいと思えます。